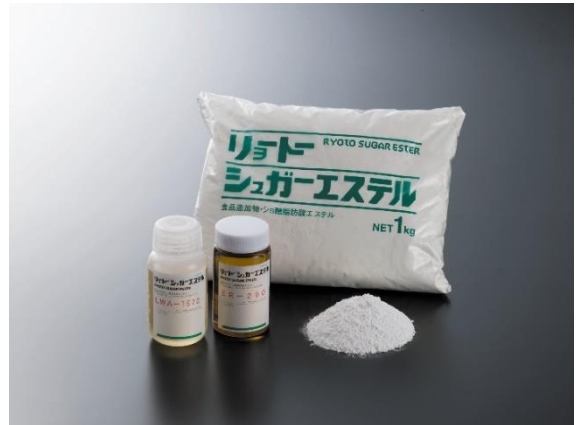


乳化剤「シュガーエステル」の製造能力を追加増強  
～高品質な食品への世界的な需要に応えるため、九州事業所に新ラインを追加～

三菱ケミカルグループ<sup>※1</sup>（以下「当社グループ」）は、高品質な食品への世界的な需要に応えるため、乳化剤「シュガーエステル」について、三菱ケミカル九州事業所（福岡県北九州市）の製造設備（製造能力：2,000 トン/年、2024年3月本格稼働予定）に、新ライン（1,100 トン/年）を追加して製造能力を増強します。新ラインは2024年1月に着工しており、稼働開始は2026年3月の予定です。



2024年3月に本格稼働予定のシュガーエステル製造設備（2,000 トン/年）  
2026年3月に新ライン 1,100 トン/年をさらに追加予定（三菱ケミカル九州事業所）



シュガーエステル製品写真

シュガーエステルは、ショ糖と植物油脂由来の脂肪酸を主原料とした乳化剤です。水分と油分を均一に混合させる機能を有し、食品の加工や流通保管時の品質維持に役立ち、飲料（缶コーヒーなど）、乳製品（ホイップクリームなど）、菓子（ケーキやチョコレートなど）といった幅広い分野で使用されています。当社グループのシュガーエステルは世界シェアの約7割を占め、優れた乳化機能に加え、顧客のニーズに応じて組成や構造を最適化する技術に強みがあります。

当社グループは、国内の安定した需要と中国などの海外需要の伸長、BCP 対応に応えるため、稼働中の東海事業所（製造能力 10,000 トン/年、三重県四日市市）に加え、九州事業所の製造設備（2,000 トン/年）を2024年3月に本格稼働する予定です。また、今春から欧米や東南アジアにおけるマーケティング体制を強化するため、各地域での営業拠点設立を検討しており、すでに食感やおいしさの向上など、顧客ニーズに応じた商品設計を開始しています。加えて、当社グループのシュガーエステル製造設備は、コーシャ<sup>※2</sup> 認証およびハラール<sup>※3</sup> 認証を取得済みです。これらの取り組みにより、さらに海外需要増加が見込まれるため、九州事業所に新ライン（1,100 トン/年）を追加してサプライチェーンを強化します。

当社グループは、革新的なソリューションを提供するスペシャリティマテリアルグループとして、これからもシュガーエステルの展開を通じ高付加価値な製品を提供していきます。

※1 三菱ケミカルグループは、三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社の総称です。

※2 ユダヤ教の戒律に基づく規定、※3 イスラム教の戒律に基づく規定

以上

お問合せ先  
三菱ケミカルグループ株式会社  
コーポレートコミュニケーション本部  
メディアアリレーション部 TEL : 03-6748-7140